



フェーズフリーアクションパートナーマーク 使用ガイドライン

version 1.0 / 2019.04.25

version 1.3 / 2024.03.25

お問合せ先

一般社団法人フェーズフリー協会

〒113-0034 東京都文京区湯島4-6-11

WEB : <https://phasefree.or.jp>



01 PFパートナーマーク

フェーズフリーアクションパートナーマーク（PFパートナーマーク）は、平常時と非常時という異なるフェーズを別け隔てなく扱うというフェーズフリーの基本コンセプトを、青と赤が混在して成り立つタイポグラフィとして具体化した意匠です。また文字を構成するパーツの組み合わせによって、今後様々なプロダクト／サービスに、展開可能であることや、未来の可能性として広がりを持った概念であることも表現しています。このマークを掲示することで、フェーズフリーの理念に賛同し、その理念のもとに何らかの活動を行っていることを周囲に広く伝えることができます。

PFパートナーマークは、一般社団法人フェーズフリー協会によって承認された団体や活動にのみ、使用することが出来ます。協会事務局から提供される正規データを使用してください。使用の際には、当ガイドラインにて定められている条項を必ず守り、許可なく改変することを禁止します。

PFパートナーマークは左のデザインを基本形としていますが、表示スペースや使用状況に応じて、次ページ以降の展開形も使用することが出来ます。表示方法についてご質問がある方は、フェーズフリー協会へお問い合わせください。

02 組み合わせパターン

前ページの「基本形」の他、左の通り「展開Ⅰ、Ⅱ」を用意しています。使用スペースや表示するメディア、アイテムに応じて使い分けてください。

各マーク・ロゴタイプの比率や間隔等を変更することは出来ません。また、これ以外の組み合わせパターンを許可なく制作することを禁止します。

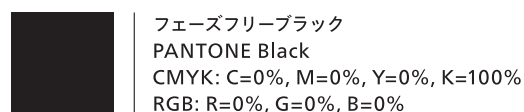
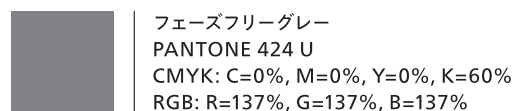
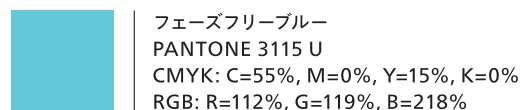
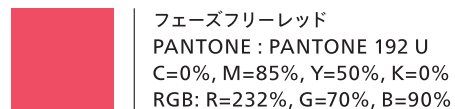
展開Ⅰ



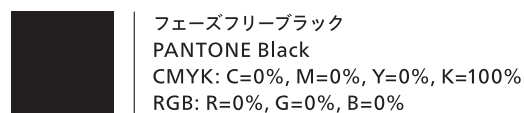
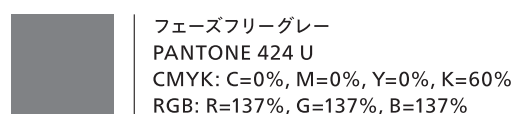
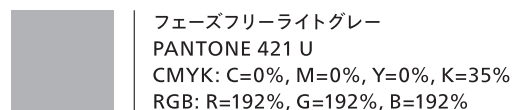
展開Ⅱ



フルカラー



グレースケール



03 カラー表現規定

PFパートナーマークに使用される色は、左の通りです。

赤と青、グレー三色の組み合わせで成立しています。日常時と非常時、様々な分野への展開可能性といったフェーズフリーの理念を可視化した色表現になっています。

カラーでの使用を推奨していますが、やむを得ず、モノクロ印刷で使用する場合は、下段のグレースケールを使用してください。単色刷りの場合は次項の「単色／反転表現規定」を参考にしてください。

基本形(単色)



展開I(単色)



展開II(単色)



04 単色／反転表現規定

PFパートナーマークは、カラーまたは、グレースケールでの使用を推奨していますが、やむを得ず単色刷りが必要な場合のみ、左の通りの各「単色パターン」を使用することが出来ます。

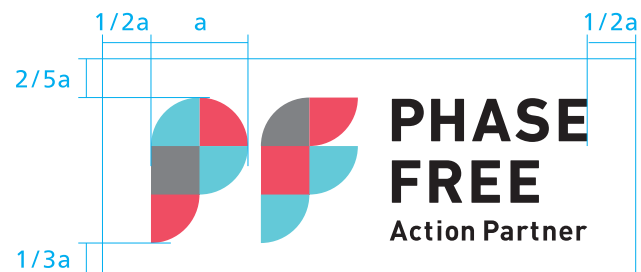
「単色パターン」を使用して、カラー／グレースケールのマークを作成することは出来ません。

背景色に応じて、白色への反転表現も可能です。

指定外の色を使用して単色刷りを行う場合は、視認性が保たれているかどうかを判断し、適切にご使用ください。マークの視認性確保の判断が難しい場合には、フェーズフリー協会にお問い合わせください。



基本形 (カラー/単色)



展開 I (カラー/単色)



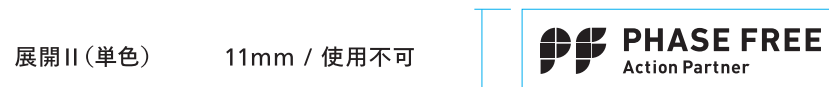
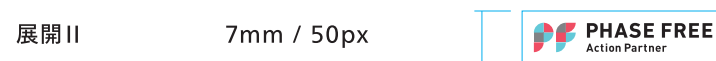
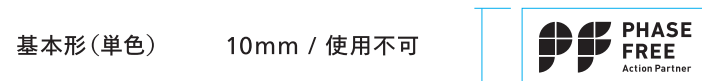
展開 II (カラー/単色)



05 周囲の余白

PFパートナーマークの視認性や価値を損なわないため各パターンに最低限指定の余白を設けてください。

指定余白内に、その他オブジェクトや文字要素を表示することは出来ません。左に示したのは、確保すべき最小限の余白ですが、表示にあたっては可能な限り大きなスペースを設けるよう配慮してください。



06 使用最小サイズ

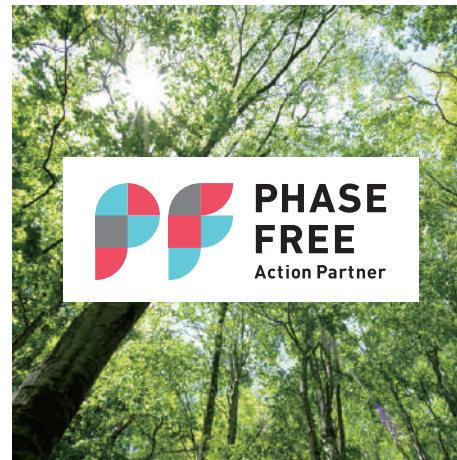
PFパートナーマークの最低限の視認性を確保するため、使用最小サイズを規定しています。印刷(mmで表記)・デジタルメディア(pxで表記)それぞれにあった組み合わせを、最小サイズを守り使用してください。最小サイズより小さい表示は禁止します。

「単色パターン」は、デジタルメディアで使用することは出来ません。

07 背景との組み合わせ



余白サイズを基準とした
白地を設けることを推奨しています。



PFパートナーマークの背景については、余白サイズを基準とした白地を設けることを推奨していますが、マークの視認性が確保出来る背景であれば例外的に白地を設けずに使用することが出来ます。PFパートナーマークと類似した色を使用した背景や、デザイン性を損なう背景の場合は白地を設けて使用してください。



例外的に、視認性が確保できる背景であれば白地を設けずに使用することも出来ます。

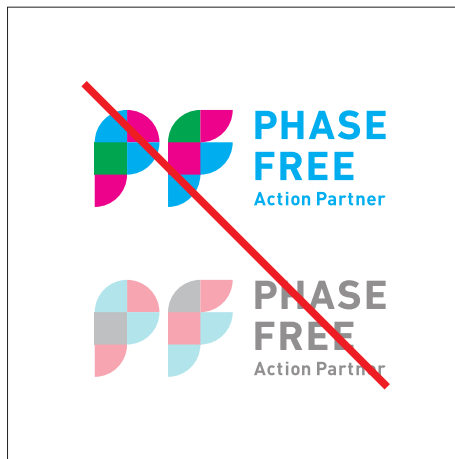


マークの視認性確保の判断が難しい場合には、フェーズフリー協会にお問い合わせください。

08 使用禁止例

使用を禁止している一例を左に記載しています。ここに例のないものであっても、当ガイドライン規定に反する使い方又はPFパートナーマークの品質や価値を毀損する可能性のある使い方は禁止されています。許可なくデザインを改変したものや、展開パターンにない組み合わせ、余白の侵害、視認性の欠落があるものは使用出来ません。

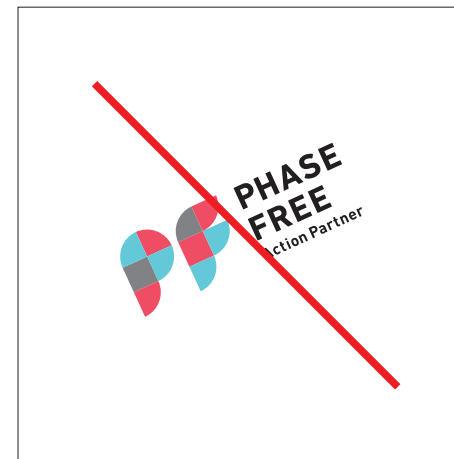
マークの使用禁止例の判断が難しい場合や、例外的な使用を希望する場合には、フェーズフリー協会までお問い合わせください。



指定色以外の使用や濃度の変更を禁止します。



変形を禁止します。



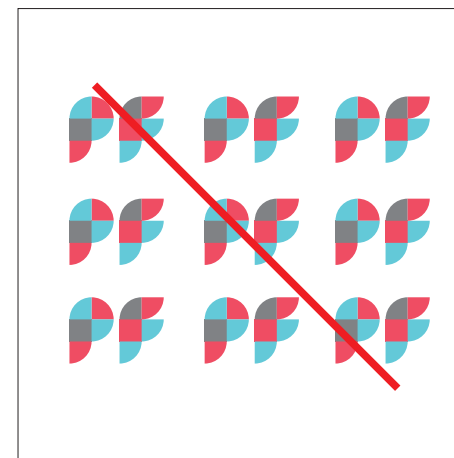
その他オブジェクトに対して水平垂直を守らない回転を禁止します。



縁取りや影を付けることを禁止します。



指定ロゴタイプ以外のフォントと組み合わせることを禁止します。



マークのみの使用や近接エリアでの乱用、模様のように使うことは禁止します。

09 各マークの関係性

フェーズフリーアクションパートナーマーク (PFパートナーマーク)の他に、左に示すようなフェーズフリー認証マーク (PF認証マーク)も使用されます。どちらも一般社団法人フェーズフリー協会が発行しているものですが、PFパートナーマークはフェーズフリーの理念に賛同し活動する団体に付与されるものに対して、PF認証マークはプロダクト/サービスの機能性を評価するものに対して使用されます。両者の違いを理解した上で、誤用が無いよう注意してください。

フェーズフリーアクションパートナーマーク
(PF (ピーエフ) パートナーマーク)



フェーズフリー認証マーク
(PF (ピーエフ) 認証マーク)





10 マーク展開イメージ

PFパートナーマークの使用参考イメージです。実際の使用の際には、サイズや色をガイドライン規定に従い、マークを配置してください。



11 付随コピー

PFパートナーマークと共に、左記のコピーを表示することが出来ます。

フェーズフリーアクションパートナーマーク付随コピー_パターンA

フェーズフリーに賛同しています。

フェーズフリーアクションパートナーマーク付随コピー_パターンB

フェーズフリーの活動を応援しています。

フェーズフリーアクションパートナーマーク付随コピー_パターンC

フェーズフリーのアクションパートナーです。

費用

申請からご利用まで全て無料です。

お申込み

WEBサイトよりお申込みください。

<https://ap.phasefree.net/>



必要書類

【法人・行政団体】

- ・履歴事項全部証明書(法人), その他証明書(行政団体)
- ・会社・事業概要資料(任意)

【登記を行っていない団体・個人・個人事業主】

- ・個人・代表者の身分証明書
- ・会社・事業概要資料(任意)

協会による手続き

平均的な協会による手続きの処理期間として
1か月をお願いしております。

登録通知書の受取り

アクションパートナー登録

12 マーク使用要領

PFパートナーマークは、正しいプロセスを経て承認を受けた場合のみにお使いいただけます。そのプロセスは左記の通りとなります。

お問合せ先

一般社団法人フェーズフリー協会
〒113-0034
東京都文京区湯島4-6-11
A1607
TEL:03-6803-0160(代表)
